

個人の尊厳を守る政治の実現をめざして

市民連合@新潟が野党代表・市民とのシンポジウム



11日、「衆院選では新潟から野党統一の流れをつくらう」と、「市民連合@新潟」のシンポジウムが新潟市内で行われました。

シンポジウムの目的は、様々な分野で頑張っている市民から「私の願い」を出してもらい、生活者にとって身近で大事なことを探ることと、総選挙を考える第一歩にすることの2つです。

7人の市民からの「私の願い」は医療、介護、農業、子育て、高齢者問題などを「個人の尊厳を守る」立場から訴えるものでした。7人の発言は、次の通りです。

「医療福祉分野のマンパワー不足は限界にきている。施設を作ったものの開業を延期したところもある」(Wさん)

「きょうは5年と10ヶ月目の月命日。きょうも津波被災現場で捜索が行われて

いる。なんとか希望の持てるエネルギー政策を示してほしい」(Oさん)

「農業は多様な担い手によって持続性のあるものにならなければならない。強い農業は根強くはない。小さい農業があるから、それよりもちよつと大きい農業も輝く」(新大農学部I教授)

「安民法制や労働法制などいままの政治の中では個人の尊厳がおろそかにされている。野党の皆さんからは個人の尊厳から政策を考える立場で真剣な議論をお願いしたい」(弁護士Kさん)

「親の仕送りが減ってきているのが当たり前になっていく。それゆえに勉強ができない状況もある。背景には学費が高いという現実がある。どんな家庭に生まれても学べる環境をつくってほしい」(県立大F准教授)

「保育園の潜在的な待機児童は県内では161人いる。そのうち7割は保育園が遠くて通えないなどの事情がある。潜在的な待機児童も『待機児童』として認めていただきたい」(Oさん)

「いま高齢者を襲っているのは貧困化だ。すべての高齢者が安心して暮らせるよう、その一点で力を合わせてほしい」(Iさん)

いづれも、共感と感動を呼ぶものでした。

こうした市民の願いを受けて、各党代表は次のように発言しました。

「発言はリアルで切実だと思った。安倍内閣は戦後最悪の内閣だ。これを変えることができるとどうかは、市民と野党が力を合わせることでポイントになる」(日本共産党・樋渡県委員長)

「個人の尊厳が無視されていると改めて実感した。安倍政権はファシスト政権だと思っている。野党は(自公の議席)3分の2を割らせることで大同団結していくことが大事。政策の共通していることを前に出して一致させていこう」(社民党・渡辺県連幹事長)

「原発ひとつとっても安倍政権は好き勝手にやっている。(市民のみなさんの願いが実現できるかどうかは)野党が結束して自民党を打ちのめすことができるかどうかのカギだ」(自由党・佐々木県連支部連合会幹事長)

「みなさんと思いは一緒だ。安倍政権の支持率が高いのは野党が弱いから。信頼して任せられる政権をつくるのが大事だ」(民進党・大淵県連支部連合会幹事長)

日本共産党が第27回党大会

市民と野党の共闘で安倍政権打倒・野党連合政権めざす

上野議員が参加

日本共産党は1月15～18日、熱海市の党員研修施設「伊豆学習会館」で第27回党大会を開催しました。

この大会では、「異常な対米従属」「異常な財界中心」を特質とした自民党政治が、深刻な行き詰まりに直面していることを明らかにしました。そして、昨年大きく発展した市民と野党の共闘をさらに強めることで、安倍政権打倒と野党連合政権樹立をめざそうと誓い合いました。

大会には、上野議員が上越を代表して参加し、全



国の仲間を活動の生きたる言葉から感じ取り、交流を深めました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 530 2017年1月22日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

日本共産党議員団市政報告会

みなさんの暮らしに寄り添って市政に臨む日本共産党議員団が、市政の重要課題を報告するとともに、みなさん

の声をお聞きします。ぜひお気軽においでください。お待ちしております。

● 1月26日(木) 18:30～20:30
● 柿崎地区公民館